

入学案内

通 信 科

基礎課程・専門課程

あなたが…

「主のためになりたい」と願うなら

学びの一步から踏み出してみませんか

2027



日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央聖書神学校

「主の働き人としての5つのなりたい」

1. 証しができるようになりたい
2. 小グループを導けるようになりたい
3. 個人伝道ができるようになりたい
4. みことばを分かち合えるようになりたい
5. ペンテコステ信仰を継ぐ者になりたい



基礎課程では、ミニストリー概論などを通して「5つのなりたい」を学ぶことを中心に、新約聖書通論、旧約聖書通論、聖書解釈学、教会史など基礎的な神学の学びを行います。さらに、授業を視聴し課題や試験によって学科単位の取得を目指すだけでなく、実習（日曜派遣）、学習態度、霊性の養い（チャペル視聴、小グループなど）を通して「主のためになる」ための資質を養う事を大切にしています。また、出席教会の牧師にメンターを担って頂き、日常生活と学びのバランス管理や祈りのサポートをお願いしています。

「より専門的な召しに応えるために」

1. 牧師・伝道師・宣教師への召しに応えるために
2. 専門的な学びに召されていると信じて



専門課程では、基礎課程での学びをベースに、神学の学びを深めていきます。とくに牧師、伝道師、宣教師への召しに対する訓練として、実習（日曜派遣、インターン）、学習態度、霊性の養い（チャペル視聴、小グループなど）を重要視し、メンター（通信科実務委員）とともに卒業を目指します。そのため、専門課程生には、①神様に召しだされた者として生き、②深く聖別された生活を営み、③他者から教えを受ける謙遜さを持ち、④祈りと信仰の人であるように励む、学生生活が要求されます。また、専門課程への進級は、本校基礎課程を修了し、学科成績、学習態度を評価したうえで進級面接を受ける必要があります。専門課程卒業者は、本校の推薦を受けることにより、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の補教師学科試験が免除されます。

	基礎課程	専門課程
入学・進級資格	募集要項を参照	基礎課程を修了した者
入学・進級	入学願書・必要書類の提出 入学審査は作文（証し）と面接 毎年2回（10月、2月）	進級願書の提出 進級審査は基礎課程評価と面接 各学期毎（年3回） ※基礎課程修了後5年以内であれば進級願書の提出が可能
在学期間	6年以内（基礎課程、専門課程を通して）	
メンター	出席教会の牧師	通信科実務委員の牧師
学習進捗管理	学習進捗報告書の提出 通信科スタッフによる進捗確認（メール）	学習進捗報告書の提出 電話、オンラインによる面談（月数回）
日曜派遣（実習）	出席教会への派遣 半年をワンクールとして2回	他教会への派遣 半年をワンクールとして2教会
インターン（実習）	なし	原則、無牧の教会への派遣を3ヶ月 但し、卒業後のビジョンを考慮し決定する
学習方法 *1	リアルタイム授業：本科カリキュラムに合わせオンラインで受講（必修科目） アーカイブ授業：各自のペースでポータル上の授業を受講（必修科目、選択科目）	
スクーリング	希望者	必須（スクーリングで6単位取得が必須） 毎年2月に6日間
霊性の養い	学生同士の小グループ活動（オンライン）、チャペルへの出席（オンライン）など	
学生間の交わり	スクーリング、CBC キャンプ、CBC フェスタ、式典などを通しての学生活動 LINE グループを用いての交流、オンライン交流会の実施など	
学科評価	各学科の評価基準（小テスト、試験、ブックレポート、実習など）による 試験は出席教会の牧師、または牧師の推薦する者の立会いのもと実施する	
学習評価	メンターおよび教務によって、チャペル視聴、小グループへの積極的参加、学期ごとの計画的学習、学習態度（学びへの取り組み方）などが評価される	

*1 学習方法	基礎課程	専門課程
リアルタイム授業	30単位	30単位
アーカイブ授業		
スクーリング	—	6単位
日曜派遣	2単位	2単位
インターン	—	2単位
霊性の養い	学習評価	学習評価
合計	32単位	40単位

- ◆ 必修科目は、リアルタイム授業を基本とし、本科の授業時間に合わせて、オンライン（Zoom）を通してリアルに授業を進めていきます。
（ナイトクラスは毎週火曜日、木曜日 19:00～22:00 * 前年度の例）
- ◆ 選択科目は、NOAH（教務システム：履修管理やビデオ授業を視聴するサイト）を通して、各自の状況に合わせて計画的に授業を進めていきます。（リアルタイム授業でも可）

学び方Q&A

Q1. 仕事をしながらの学びを考えています。どのぐらいの時間が必要ですか？

A 基礎課程を1年で終える場合は、週に4科目で12時間、2年で終える場合は、週に2科目（3単位で4時間が必要です。それに加え、ブックレポートに必要な読書、テーマレポートの作成、試験のための自習などが必要です。これらに必要な時間は学生それぞれですが、大切なことは、自分の学習ペースを早急に確立し計画的に進めることです。一日も早く「主のためになる」ために、最長でも基礎課程を3年で終えるようにしてください。また、最短3年で基礎課程、専門課程を終えることができるカリキュラムとなっています。

Q2. オンライン授業への出席は必須ですか？ 残業などで出られない日があります。

A 通信科では、必修科目を本科カリキュラムに合わせたオンライン授業に出席することで、誰かと一緒に学ぶ機会を必須としています。必須としているオンライン授業（3単位）は、ナイトクラス（19:00～22:00）を中心に週二日以上（2科目以上）行われます。原則リアルタイムでの出席が求められますが、仕事や子育てなどで時間が取れない場合は、その週内にアーカイブを視聴し小テストなどを提出することで出席が認められます。

Q3. 牧師への献身の召しを与えられていません。それでも入学できますか？

A 基礎課程への入学は牧師などフルタイムの献身への召しは問いません。「主のためになりたい」自分を主にささげていきたいと願う方であれば、出願できます。また、専門課程へ進級される方は、その時点（進級面接）で、牧師、伝道師、宣教師への召しが確認されます。

Q4. 教会で多くの奉仕を担当しているため、他教会への日曜派遣が難しいのですが。

A 基礎課程生は、礼拝出席教会への日曜派遣になります。今までの奉仕を吟味し、神学生として必要な訓練を計画して進めます。専門課程生は、他教会への日曜派遣になりますので進級を目指している方は、基礎課程のうちに新たな奉仕者を育てて引き継ぎを始めるなどの準備をしてください。

Q5. 学びの途中で出産や育児で生活環境が変わりそうです。休学などはできますか？

A 在学期限（6年）の中で、最長2年の休学が認められています。休学中は授業料が免除されます。

Q6. 通信科で学ぶ中で、本科での学びに変更する事はできますか？

A 通信科で取得した単位を生かし、本科での学びを始める事ができます。基礎課程を通信科、専門課程を本科で学ぶなど、仕事や家庭、経済状況なども視野に入れて卒業を目指すことができます。

Q7. どのような学位を取得できますか？

A 通信科では、4年制大学卒業者の場合、専門課程では、96単位取得で Bachelor of Theology (B.Th.: 神学学士) の学位、72単位取得で Diploma of Theology (Dip.Th.: 神学専門士) の学位、基礎課程では、32単位取得で Certificate (修了証) を授与されます。Certificate (修了証) 以外の学位は、アジア神学協議会 (Asia Theological Association: 略称 ATA) によって正式に認定されています。

Q8. 奨学金制度はありますか？

奨学金は、当教団教会の学生を対象に、申請および審査により貸与されます。他教団教会の学生については相談に応じます。（詳細は学校事務所にお問い合わせください。）